

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームてとて			
○保護者評価実施期間	R7年11月1日		～	R7年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	R7年11月1日		～	R7年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫できている。	月1回のミーティングで、継続して活動した方がよいこと、やり方を変えた方がよいことなどの話し合いをしている。毎回振り返りを行い、良かった点や改善点を話し合っている。	職員みんなが同じ方向性でプログラムの内容や細かい支援内容について考えることができるよう、継続して話し合いを行う。
2	研修の機会が充実している。	年間研修計画を作成し、職員個々が目標を達成できるよう、研修の案内を行っている。研修に職員を派遣することにより、職員が不足する場合は、法人の他事業所からの応援をお願いするなどの配慮を行っている。	研修で学んだことを活用したり、アウトプットしたりできる機会の提供を積極的に行っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	配置職員人数は十分であるものの、部屋の数が多く、職員が分散することにより、各フロアが手薄になることがある。職員がバタバタしており、保護者に不安な気持ちにさせてしまったり、忙しそうで相談しにくい雰囲気を感じさせてしまっているところがある。	部屋数が多いところ、広いところは事業所の良い面でもあるが、使いこなせていない。無駄な業務が多く、バタバタしている。保護者の対応を丁寧に行うことができていない。	部屋の使い方を工夫する。時間を決めて、フロアを限定して使用する、目的に応じたフロアの使い方を決める。ITシステムを導入することにより、業務負担の削減を行う。保護者対応が丁寧に行えるよう、担当者を決めるなどの工夫を行う。登所時、降所時等は、ゆっくり話すことが難しい時間帯もあるため、別日で面談の日を設定するなどの提案を行う。
2	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設けることができていない。ペアレントトレーニング等の取り組みができていない。	保護者からのニーズはあるが、実施することができていない。	イベントを企画するなど、今後検討する。ペアレントトレーニングの研修をまず職員が受ける。
3	安全計画に沿った研修・訓練や避難訓練などの実施状況が、保護者に周知されていない。	決められた訓練や研修を適切に行っているが、保護者に周知することができていない。	訓練や研修の実施報告をホームページやSNS等を利用して発信する。